172848

cited Reference in Search Report

Laid-open Patent Application No. 4-172848 laid open on June 19, 1992

Patent Application No. 2-302966 filed on November 7, 1990

Applicant: Sanyo Electric Co., Ltd.

Inventors: Akio Kosaka et al.

Title: Communication Terminal Unit

#### Claim:

1. A communication terminal unit for use in the communication system including a base station provided with a function of transmitting a transmitter telephone number to a receiver provided with:

memory means for storing an area code, the name of the area having an area code and the area name of a self station; and

display means, in which

when transmission is received and a transmitter telephone number is transmitted from said base station, if said transmitter telephone number has an area code, the name of the area corresponding to the area code is read from said memory means,

if said transmitter telephone number has no area code, the area name of said self station is read from said memory means, and

the area name is displayed on said display means together with said transmitter telephone number.

Reference numerals in drawing figures:

7...display, 10...CPU, 11...program memory, 12...data memory

ナンプ(4)に与え、又通信量管回路(3)、アンプ・ (1)からの役をサレィ アケリングした 前橋卸(1) に与える。前記遺籍制御回路(3)は、フィルタ館 (1)とサータパス(5)の間におってメッセージ テータ等のテータ信号の投資を行なうと共にキー 回路(6)のキースキャン及び表示的(1)の表示制

**治局平4-172848 (2)** 

平4-172848 (1) 作群出關公開 開特許公報(A) 日本国特許庁(19) 4 **@** 9

斤内整理番号 1/57 ØInt. CL. 11 22 20

109

7190-5K 8523-5K ø

**30公開 平成4年(1992)6月19日** 

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全3頁)

通信端末裝置 の発明の名称 平2-302966 壓

平2(1990)11月7日 费司 鳥取俱鳥取市南吉方3丁目201番地。鳥取三洋電機株式会 鳥取県鳥取市南吉方3丁目201番地 鳥取三洋電機株式会 大阪府守口市京阪本通2丁目18番地 島取県島取市南吉方3丁目201番地 檓 溜 三洋電磁株式会社 島取三洋電機株式会社 弁理士 西野 卓嗣 槲 雷 ≡ 极 魯 赵 ÷ ŔΦ  $\prec$ 沺 雷 靈 銀砂 (S) (0) # 6

Щ

8

路窃器米数阿 1. 乾胜の允祥

作年益米の問題

(1)先后因真然格与小学后因に必然十少教院や 有する植物局を合む函数システムで使用される過

蘇森米奈明において、市外四巻と食品が四巻に女 応する地域名、且つ自四の地域名を記憶する手段 5、 我你手段心灵缩し,最简易に、包括佛格思か ら死体個単語を与が込信されたとき、放死値隔載 陪律やが哲外陪律を推している場合はこの哲外思

作にならたらもほんか、 かつただが即移が近つた いない場合は自然の地域名を前院記憶手段より説 4出し、この私徒名を問記先信仰無話者やと共に

**育記表示手段に表示することを特徴とする通信権** 

**朴状形は、統布馬部級、コードンス純和製作の** (イ) 保護士の利用分野 3. 完配の存置が試配

治信格未按照に図する。

(ロ) 従来の技術

近年、鉄帯馬詰銀、コードレス色路被替の前線 過信校開が非常に参及し、これに住ないが数の機 我が指数がれてきている。この数数の10m、虫 えば特開平2-129829号公報に開示されている様に

(へ) 税用が解決しようとする原風

抗疫性無限物を救火がある。

ところで、上記の指皮の場合、一般的に、着信 私は。CALL。の哲へ推信予信味する教序や行 **ふのみで、どの袖篷よりかかった申たものか分か** らないという欠点があった。即ち、飮田袖がいの 複裁を利用する場合に、どの地域より発信された ものであるか分かる方が良いと考えるが、上記の 哲を振成では使用者は私味種別を包ることは不可

(一) 原因を解決するための手段

有いわった。

ステムで使用されるものにおいて、市外局者と攻 仮包に送信する後枕を准する様格局を右む通信シ 本说用的运输检察状数同位、现在宽气机路都免免物

形外国都に対応する地域名、且つ自己の地域名を

記律手段より読み出し、この地域名を倒記発信息 真語者号と共に前記表示平段に表示するものであ 合はこの形外の移にならする私籍名や、そして行 外司者を有していない場合は自己の地域名を前記 信託 神名 匹かっ 状 森 窓 馬 和 幸 中 か 光 森 む れ た と 4、 技法会会員路停中が行から存むになっている場 記憶する手段と、数尽手段を異偏し、着信時に、

ŧ

キー、センドキー、エンドキー及びアップキーが

右まれる。(8)(9)は形記アング(4)に接取され たマイクとスピーカである。(10)はROMからな るプログラムメモリ(11)に書き込まれたプログラ

答らたなシょう無反されている。位、4一回路 (6)にはサンキー、リダイナルキー、クリヤー

> 本発明は、上記の様に構成したものであり、者 信かあった場合どの地域よりかかってきたものか 20ることが可能となる。

(人) 就 新 定

本税股の実施安や囚困に推力いて処配する。夢 1 図は、米国のセプターツステムで食用される場 毎田紅俊亀記のブロック図を示し、(1)は煎機部 で、攻俘した萬周政(800MH,帯)信号を貸買すると **共に送信信令を返回数に安置して送信するものむ ある。(3)はフィルタ館で、低路無機館(1)から** の信号をフィルタリングして通信制制回路(3)、

自国の地域名を記載する技数自由の資味がある。(1 ムに従い動作するCPUで、アータパス(5)を介 Mからなる 17.70 市外町物、この市外町命に対応した結婚名、国ウ グラムメモリ(11)は、プログラムの倒装の信に、 して仮記過信託等回路(3)及び テークメモリ(12)とアークの校生 3)はベルある。

第1回は、飛起プログラムメモリ(11)に記載さ

n(13)を原動する(ステップS-2, 3)。 権格員 いちムーシブッカーシとでもに現在側側部部中の 数分する (等3図(\*)参照:この場合自局はChic 080)。 もし花の回鳥結婚中に形外記券が合まれ ログラムメモリ (11)のいずれかの仮様に記載され れた要的のプログラムのフローチャートで、以下 いれた神びでた君谷小気感かる。 おず、CPU(1 0)は馬斯拉入役、形定の台部教所を表示的(1)に て行なう(ステップS-1)。 その後、基地局から のスージメッセージ (集成の形件/ッセージ)や 政府すると、ユーゲーに推信や凹られるためにく アーナが出られてくるので、死症無馬筋疹のや数 示事 (1) に表示する(ステップS-1)。もし先 自己が安保された協議と図一の名談から発手して いると考えられるので、プログラムメモリ(11)よ り自己の地域名を呼び出し税信息制能を与と状に ている場合、CPU(10)は、四一の街外町参がプ にいるが酌がを被出し、数出されたならば、その 陪倒電路を与に市外局番が合まれていない場合、

十る(第3図(12)参照:この場合形外司券が416 であるので、エリア名Torontoを表示する)。こ の状態で、もしょーケーがカンドキーを選手する ト(スチップS-8)、ヘル(13)の昭覧も弁止し (ステップS-9)、 函路処理を行う(ステップS -10)。CPU(10)は、エンドホーが装作される **まかいの当路処面や抜け、エンドキーが進作され** 

及び現在図典部かやの数形を保存してユーザーに 単値かるしたことを配むし、クリアキーが独作さ ると非話し(ステップ5-11)、ステップ5-1に 13 458 A 内に依旧されなかった場合、アラードタイムオー パーとなり(ステップS-12)、ベル(13)の顧問を 存止する(スタップS-13). そしてCPU(10)は この場合はクリアキーが指行されるまで、地域名 れればステップS-1に戻り初期表示を行うこと 戻る。もしユーザーの不住でもン になる(スサップS-14)。

(ト) 免配の容易

本発明は、上記の様に蔡皮したものであるので 我庭園馬路春年が敷灰の際、アの葛珠10かかり

仮説の地域名を先の発信値電話者号とともに表示

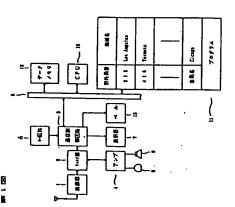
てもたものかざることが可能となり、食い部本の食い道森路米牧師を森供することがたきる。

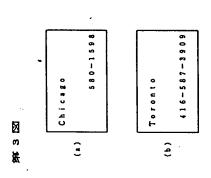
4. 図周に割事な説明

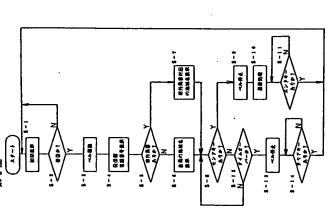
等1四は、本児用の協信組状製師のプロック区、第2四は、四とヘブログラムメモリに申き込まれた原命のフローチャート、第3回(m)及び都当の(p)は、四と〈表示等の表示状態を示す四下

(1)…最添酉、(10)…CPU、(11)…ブログラムメモリ、(12)…テータメモリ。

比關人 二洋氧液体式会社 外1名代理人 牛提士 医野毒鼠(外2名)







-265-

# 19日本国特許庁(JP)

11 许出願公開

# ⑫ 公 開 特 許 公 報(A)

平4-172848

®Int. Cl. 5

識別記号

庁内整理番号

❸公開 平成4年(1992)6月19日

H 04 M 1/57 H 04 B 7/26

109 Q 7190-5K 8523 - 5 K

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全3頁)

🖾発明の名称

通信端末装置

20特 願 平2-302966

22出 願 平2(1990)11月7日

@発 明 者 小 坂 明 雄 鳥取県鳥取市南吉方3丁目201番地 鳥取三洋電機株式会

社内

@発 明 渚 長 谷 川

孝 明

卓嗣

鳥取県鳥取市南吉方3丁目201番地 鳥取三洋電機株式会

补内

**の出** 題 人 三洋電機株式会社

大阪府守口市京阪本通2丁目18番地

顋 の出 人

鳥取三洋電機株式会社 鳥取県鳥取市南吉方3丁目201番地

個代 理 弁理士 西野 外2名

1. 発明の名称

通信端末装置

# 2. 特許請求の範囲

(1)発信側電話番号を著信側に送信する機能を 有する基地局を含む通信システムで使用される通 倡端末装置において、市外局番と譲市外局番に対 応する地域名、且つ自局の地域名を記憶する手段 と、表示手段を具備し、着信時に、前記基地局か ら発信側電話番号が送信されたとき、該発信側電 話番号が市外局番を有している場合はこの市外局 番に対応する地域名を、そして市外局番を有して いない場合は自局の地域名を前記記憶手段より銃 み出し、この地域名を前記発信側電話番号と共に 前記表示手段に表示することを特徴とする通信機 末装置。

# 3. 発明の詳細な説明

### (イ) 産業上の利用分野

本発明は、携帯電話機、コードレス電話機等の 通信端末装置に関する。

#### (ロ) 従来の技術

近年、携帯電話機、コードレス電話機等の無線 通信装置が非常に普及し、これに伴ない多数の機 能が搭載されてきている。この機能の1つに、例 えば特開平2-159859号公報に開示されている様に 発信側電話番号表示がある。

#### (ハ) 発明が解決しようとする課題 -

ところで、上記の構成の場合、一般的に、若信 時は"CALL"の如く着信を意味する表示を行 うのみで、どの地域よりかかってきたものか分か らないという欠点があった。即ち、使用者がこの 機能を利用する場合に、どの地域より発信された ものであるか分かる方が良いと考えるが、上記の 如き構成では使用者は地域識別を知ることは不可 能であった。

### (二) 課題を解決するための手段

本発明の通信端末装置は、発信側電話番号を著 信側に送信する機能を有する基地局を含む通信シ ステムで使用されるものにおいて、市外局番と該 市外局番に対応する地域名、且つ自局の地域名を

記憶する手段と、表示手段を 前記基地局から発信側電話番号が送信されたと き、該発信側電話番号が市外局番を有している場 合はこの市外局番に対応する地域名を、そして市 外局番を有していない場合は自局の地域名を前記 記憶手段より読み出し、この地域名を前記 電話番号と共に前記表示手段に表示するものである。

#### (ホ)作用

本発明は、上記の様に構成したものであり、若 信があった場合との地域よりかかってきたものか 知ることが可能となる。

#### (へ) 実施例

本発明の実施例を図面に基づいて説明する。第 1 図は、米国のセルラーシステムで使用される携帯用無線電話のブロック図を示し、(1)は無線部で、受信した高周波(800MHz帯)信号を復調すると共に送信信号を高周波に変調して送信するものである。(2)はフィルタ部で、前記無線部(1)からの信号をフィルタリングして通信制御回路(3)、

れた要部のプログラムのフローチャートで、以下 これに基づいて動作を説明する。まず、CPU(1 0)は電源投入後、所定の初期表示を表示器(7)に て行なう(ステップS-1)。その後、基地局から のページメッセージ(着信を示すメッセージ)を 受信すると、ユーザーに著信を知らせるためにペ ル(13)を駆動する(ステップS-2, 3)。基地局 よりペーシメッセーシとともに発信側電話番号の アータが送られてくるので、発信側電話番号を表 示器 (7) に表示する(ステップS-4)。もし発 信側電話番号に市外局番が含まれていない場合、 自局が登録された地域と同一の地域から発呼して いると考えられるので、プログラムメモリ(11)よ り自局の地域名を呼び出し発信側電話番号と共に 表示する (第3図(a)参照:この場合自局はChic ogo)。もし発信側電話番号に市外局番が含まれ ている場合、CPU(10)は、同一の市外局番がプ ログラムメモリ(11)のいずれかの領域に記憶され ているか否かを検出し、検出されたならば、その 領域の地域名を先の発信側電話番号とともに表示 アンプ(4)に与え、又通信 回路(3)、アンプ (4)からの信号をフィルタ アングして無線部(1) に与える。前記通信制御回路(3)は、フィルタ部 (2)とデータバス(5)の間にあってメッセージ テータ等のデータ倡号の授受を行なうと共にキー 回路(6)のキースキャン及び表示器(7)の表示制 御も行なうよう構成されている。尚、キー回路 (6)にはテンキー、リダイヤルキー、クリヤー キー、センドキー、エンドキー及びアップキーが 含まれる。(8)(9)は前記アンプ(4)に接続され たマイクとスピーカである。(10)はROMからな るプログラムメモリ(11)に書き込まれたプログラ ムに従い動作するCPUで、データバス(5)を介 して前記通信制御回路(3)及びRAMからなる データメモリ(12)とデータの投受を行なう。プロ グラムメモリ(11)は、プログラムの領域の他に、 市外局番、この市外局番に対応した地域名、且つ 自局の地域名を記憶する複数個の領域がある。(1 3)はベルある。

第2図は、前記プログラムメモリ(11)に記憶さ

する (第3 図(b)参照:この場合市外局番が416 であるので、エリア名Torontoを表示する)。こ の状態で、もしユーザーがセンドキーを操作する と(ステップS-8)、ペル(13)の駆動を停止し (ステップS-9)、通話処理を行う(ステップS - 10)。 C P U (10)は、エンドキーが操作される までこの通話処理を続け、エンドキーが操作され ると終話し(ステップS-11)、ステップS-1に 戻る。もしユーザーの不在でセンドキーが35秒以 内に操作されなかった場合、アラートタイムオー バーとなり(ステップS-12)、ベル(13)の駆動を 停止する(ステップS-13)。そしてCPU(10)は この場合はクリアキーが操作されるまで、地域名 及び発信側電話番号の表示を保持してユーザーに **著信があったことを報知し、クリアキーが操作さ** れればステップS-1に戻り初期表示を行うこと になる(ステップS-14)。

# (ト) 発明の効果

本発明は、上記の様に構成したものであるので 発信側電話番号が表示の際、どの地域よりかかっ てきたものか知ることが可能のり、使い勝手の 良い通信端末装置を提供する。

## 4. 図面に簡単な説明

第1 図は、本発明の通信端末装置のブロック図、第2 図は、同じくプログラムメモリに書き込まれた要部のフローチャート、第3 図(a)及び第3 図(b)は、同じく表示器の表示状態を示す図である。

(7)… 表示器、(10)… C P U、(11)…プログラムメモリ、(12)…データメモリ。

出願人 三洋電機株式会社 外1名 代理人 弁理士 西野卓嗣(外2名)

